

# 農地（採草放牧地）使用貸借契約書

貸主および借主は、農地法の趣旨にのっとり、この契約書に定めるところにより使用貸借契約を締結する。

この契約書は、2通を作成して貸主および借主がそれぞれ1通を所持し、その写1通を久慈市農業委員会

（以下「農業委員会」という。）に提出する。

年 月 日

甲

住所

氏名

乙

住所

氏名

## 1. 使用貸借の目的物

甲は、この契約書に定めるところにより、乙に対して、別表に記載する土地その他の物件を貸し付ける

## 2. 使用貸借の期間

- 使用貸借の期間は、年 月 日から 年 月 日までとする。
- 甲または乙が使用貸借の期間の満了の1年前から6箇月前までの間に、相手方に対して更新しない旨の通知をしないときは、従前の使用貸借と同一の条件および期間で更新する。

## 3. 契約の解除

甲は、乙がこの契約の各号にひとつでも違反したときは、直ちにこの契約を解除し、乙に目的物の明渡しを求めることができる。

## 4. 転貸

乙は、目的物を転貸し、又は使用貸借権を譲渡してはならない。

## 5. 修繕および改良

- 目的物の修繕および改良が土地改良法に基づいて行われる場合には、同法に定めるところによる。
- 目的物の修繕は、甲が行なう。ただし、緊急を要する場合その他甲において行うことができない事由があるときは、乙が行なうことができる。
- 目的物の改良は、乙が行なうことができる。
- 修繕費および改良費の負担または償還は、民法および土地改良法に従う。

## 6. 経常費用

- (1) 目的物に対する租税は、甲が負担する。
- (2) かんがい排水、土地改良等に必要経常費は、原則として乙が負担する。
- (3) 農業災害補償法に基づく共済金は、乙が負担する。
- (4) 租税以外の公課等で(2)及び(3)以外のものの負担は、その公課等の支払義務者が負担する。
- (5) その他目的物の通常の維持保存に要する経費等は、乙が負担する。

## 9.目的物の返還及び立毛補償

(1) 賃貸借契約が終了したときは、乙は、その終了の日から 日以内に、甲に対して目的物を原状に復して返還する。乙が原状に復することができないときは、乙は甲に対し、甲が原状に復するために要する費用及び甲に与えた損失に相当する金額を支払う。ただし、天災地変等の不可抗力又は通常の利用により損失が生じた場合及び修繕又は改良により変更された場合は、この限りではない。

(2) 契約終了の際目的物の上に乙が甲の承諾をえて植栽した永年性作物がある場合には、甲は、乙の請求により、これを買取る。

(3) 甲の責めに帰さない事由により賃貸借契約を終了させることとなった場合には、乙は、甲に対し賃借料の 年分に相当する金額を違約金として支払う。

## 8. 契約の変更

契約事項を変更する場合には、その変更事項をこの契約書に明記し、かつ、農業委員会に通知しなければならない。

## 9. その他この契約書に定めのない事項については、甲・乙が協議して定める。

土地その他の物件の表示			附帯施設	
土地の表示	地目 (種類)	面積 (数量)	種類	数量